

# 高浜4号機 再稼働

## 初のプルサーマル発電へ

関西電力は26日、高浜原発4号機（福井県高浜町）を再稼働させました。再稼働に反対する大多数の国民の声を無視し、地元住民の声をまともに聞かない暴挙です。福井、京都、滋賀など各地で抗議の声が上がりました。

新規制基準施行後の再稼働は、九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県薩摩川内市）と高浜原発3号機に続き4基目で、4号機の運転は約4年7カ月ぶり。

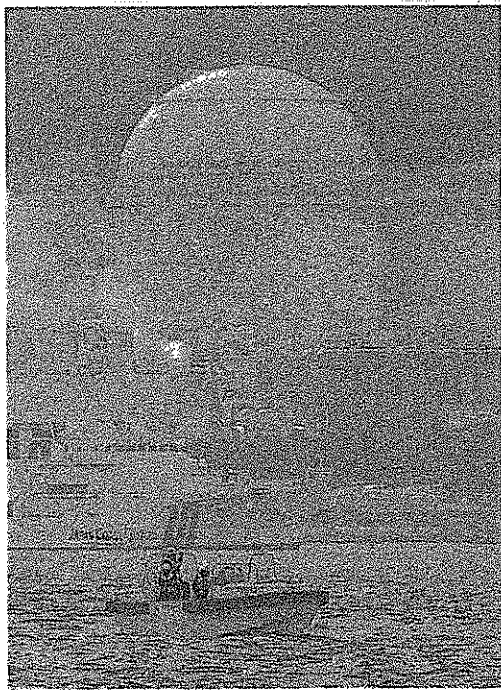
4号機では20日、原子炉補助建屋内で、原子炉などを冷やす1次冷却系につながる配管から放射性物質を含む水が漏れたばかりです。関電は漏れた原因

をボルトの緩みがあったと発表。整備の不十分さを浮き彫りにしましたが、予定通り再稼働を強行しました。

また4号機は157体の核燃料のうち、4体がウラン・プルトリウム混合化合物（MOX）燃料で、通常の原発でMOX燃料を使う「プルサーマル発電」を初めて実施します。MOX燃料は原子炉

の核分裂反応にプルトニウムをかける制御棒が利きにくくなるなど、より危険だと指摘されているほか、使用済みのMOX燃料は処理・処分が見通しがなく、各地で反対運動が起きています。

高浜原発の場合、避難計画が義務づけられた30キロ圏は福井、京都、滋賀の3府県が入り、約18万人が暮らします。しかし、避難先を含めた自治体に参加する避難訓練は行われておらず、計画の実効性はならぬ検証されな



関西電力高浜原発4号機 26日午後、福井県高浜町



# 怒り沸点 各地

2/27  
あけ



抗議の声を上げる（左から）佐藤県議、金元幸枝・共産党県書記長など＝26日、福井市

## 関電社長に抗議文 福井

関西電力が高浜原発4号機（福井県高浜町）の再稼働を強行した26日、福井県内各地で抗議の宣伝活動や申し入

れが行われました。福井市では日中、関電地域共生本部前で抗議の声を上げました。先月再稼働した3号機に続き4号機も、通常の原発でウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料を使う「フルサーマル」運転です。専門家からも「制御棒の効きが悪くなる」との指摘があるのに、東京電力福島第1原発事故前と比べ、3号機は同燃料を3倍、4号機は今回初めて

日本共産党の佐藤正雄県議は再稼働を厳しく批判するとともに、「フルサーマル発電を拡大することは、県民の安全最優先の立場とも逆行する。やめるべきだ」と訴えました。原発問題住民運動県連絡会、原発住民運動福井・福南センター、原子力発電に反対する県民会議の3団体は、美浜町の関電原子力事業本部を訪れ、八木誠社長あての抗議文を提出。「フルサーマルは」新規制基準で安全性評価の審査基準もな

い」などとして再稼働中止を求めました。福井市では夜、毎週金曜日定例の抗議の集会やデモ行進が取り組まれました。支店前で抗議 京都 京都市の関西電力京都支店前には、脱原発、原発再稼働中止を求め、抗議行動に100人以上が詰めかけました。参加者は「汚染水漏れ事故があった直後に再稼働とは、国民をバカにしてる。40年前

の技術である1、2号機も規制委員会は再稼働を了承した。許せない」と訴えに力を込めました。寒空の下、「高浜原発今すぐ止めろ」「京都は地元、勝手に決めるな」と唱和しました。

滋賀県知事 「容認できぬ」 滋賀県の三日月大造知事は26日、関西電力高浜原発4号機の再稼働を受け、「国全体として原子力政策について根本的な議論や解決策の展望が見られない現状では、再稼働を容認できる環境がない」とするコメントを発表しました。

100万人アクション緊急抗議 「さようなら原発1000万人アクション実行委員会」は26日、関西電力が同日、高浜原発4号機を再稼働することに對し、緊急抗議行動を行いました。衆院第2議員会館前には、「高浜原発再稼働反対」と書かれたプラカードや横断幕を手にはりつけ、参加者

## 「高浜とめろ」官邸前行動

関西電力が高浜原発4号機の再稼働を強行した26日夜、首都圏反原発連合（反原発）は、首相官邸前抗議行動を行いました。新規制基準のもとで、4基目の再稼働です。東京電力福島第1原発事故が収束していないのに原発を推進する安倍晋三政権。参加者は「高浜とめろ」「原発やめろ」などの声を突きつけました。

「再稼働のニュースを聞いて久しぶりに参加した」と話すのは神奈川県川崎市永野三重さん（64）です。「福島の現実を直視するなら、再稼働などありえません。安倍首相は原発に限らず全てのことからやり方が強引で、孫のために原発なくすため、できることは何でもやります」。東京都練馬区の吉成甲子（かね）さん（66）は「地震も火山もある中で再稼働なんてはかっている。今も苦しんでいる福島の人たちを踏みつけるもので、東京部あきる野市の松本勝利さん（67）は「老朽化原発まで再稼働させようとしているが、もってのほか。再稼働なんて福島の人たちに失礼だ。エネルギー政策を転換するチャンスなのだから、廃炉にすべきだ」と語りました。

パレード実施 滋賀県では180回目の「キンカン行動」が取り組まれ、約30人が大津市のJR膳所（せせ）駅前から関西電力滋賀支社前までパレードし、「高浜原発、再稼働反対」と声を上げました。ばいばい原発・守る

うびわ湖住民運動連絡会事務局の森茂樹事務局長は、「高浜原発4号機は、20日に放射能汚染水漏れ事故を起こしたばかりだ。再稼働は許せない。3号機も稼働をやめるべきだ」と訴えました。大津市の男性（38）は「もし過酷事故が起これば、近畿14500万人の命の水源である琵琶湖が汚染される。原発再稼働を進める安倍内閣を止めろ」と訴えました。



「高浜原発再稼働やめろ」「原発なくせ」と声をあげる人々＝26日、首相官邸前

800人（主催者発表）が参加。日本共産党の田村留子参院議員、藤野保史衆院議員がスピーチしました。